

令和2年度第1回別院中学校ブロック協議会 議事録要旨

■日時

令和2年8月6日（木）午後7：30～午後8：40

■会場

亀岡市役所 302・303会議室

■議事

- 1 開会
- 2 別院中学校ブロックにおける学校のあり方について
- 3 意見交換
- 4 閉会

■意見交換等発言内容

座長 (教育総務課長)	次第の2「別院中学校ブロックにおける学校のあり方について」事務局から説明いただきたい。  <事務局説明> ①別院中学校ブロックの学校規模適正化に向けた歩み ②亀岡市学校規模適正化方針（別院中学校ブロック） ③別院中学校ブロック学校規模適正化実施計画（案）
座長	今、事務局から「別院中学校ブロックにおける学校のあり方について」説明があった。何か質問・意見があればお願いしたい。
委員	別院中学校ブロックの取組は、平成29年3月から3年間のブランクがあり、その期間もPTAや自治会の意見を聞いたと説明があったが、どのような意見があったのか。
事務局	自治会やPTAと意見交換をしてきたが、ブロック協議会やPTA全員の意見を聞く機会を持つことができなかった。それぞれ役員の一部から意見を聞く形で行っていた。令和元年5月に、東別院町と西別院町の両自治会長が要望書を出されたのは、それぞれの自治会の中で検討いただき要望に至ったと解釈している。それ以降PTAを含めて話を聞く機会があり、統合や編入、現状維持を望むさまざまな声があった。

委員	様々な意見が出たうえで、今回の実施計画案を提示したということによいか。
事務局	いただいた意見だけではなく、児童・生徒数の推移を提示して自治会と協議をする中で中学校の生徒数が20人台で推移していくこと、小学校も同様に推移していくことを踏まえ、教育活動においてより良い環境を考えた時、一定の規模で学習することが望ましいと教育委員会内で検討した実施計画案である。
委員	P T Aの意見を重視して自治会も進めていかなければならない。小学校も中学校も残してほしいという意見が多いので、それで進めたいことを理解してほしい。ただし、人口が減少してきているのは事実なので、それについてP T Aがどのように思っているのか、何度も説明会を実施して意見をすり合わせて結論を出してほしい。教育委員会としてはいつ頃に結論を出すのか。
事務局	小・中学校を残してほしいという意見だけでなく、一方では中学校を統合すべきという意見もいただいております、P T Aの意見を聞かずに進めることはしない。時期については、平成28年度には2年で実施すると説明していたが、あまりにも早急過ぎることや地域の方の意見を十分に聞けていない中で進めようとしたため、今回のような機会を持つことができなくなった。その反省を生かして、丁寧に進めていかなければならないと考えている。仮に中学校を南桑中学校に編入することになれば、方向性が決定してから最短でも1年半の準備期間は必要と考えている。年度途中で学校を移るようなことはない。
委員	今回の実施計画案は3年前と変わっていない。慎重に進めているのは理解しているが、少し残念だ。実施計画案では中学校は編入とあるが、小学校はどうするのか。西別院としては、子どもの数も少なくなってきており、中学生になれば私立や府立の中学校に行かせる保護者が多くなった。移住促進も図ったが、思ったより増えなかった。地域に学校を残すことを考えて令和元年5月に要望書を出した。しかし、教育委員会からの説明をうけて難しいと判断し、住民アンケートを行ったが意見は割れてしまったので、子どもの教育環境を整備することに焦点を当てなおし、案を提示してほしいと教育委員会に言って今日に至る。
委員	新型コロナウイルス感染症で学校行事の中止や保護者同士の話し合いが進んでいないので個人的な意見になってしまうが、平成28年度と現在の意見は果たして一緒なのか疑問に感じた。今回のコロナ禍で人数が少ないことはメリットに感じた。別院地域は市内に比べると高齢者が多く、買い物なども感染リスクを下げるために努力している。南桑中学校も他の地区からの受け入れに関して平成28年度に比べたら考え方は変わっていると思う。それらを踏まえてもう少し慎重に進めるべきだ。

委員	新型コロナウイルス感染症の影響で保護者の意見を聞いていないので、個人的な意見にはなるが、実施計画案で南桑中学校に編入とあるが、別院中学校に特認校制度を利用して通っている生徒の中学校区はどうなるのか。別院中学校に通わせたくて特認校制度を利用したのに南桑中学校に行くことになれば保護者は困惑するのではないか。
事務局	これまでの説明会でも別院中学校に進学することを考えている保護者から同じような質問を受けているので、十分に検討しなければならないと考えている。先ほど説明した1年半の準備期間はあくまでも目安であり、特認校制度を利用している方々や新しく募集する際にいつ頃校区の見直しを実施するか説明しなければならない。そのため、小学校は当分の間、現状のまま継続させるのも一つの方法と考えた。一方で、今の環境のまま子どもたちに学習させるよりも、良い形にする必要はあるので時期や方法をPTAや自治会の意見を聞いたうえで検討していきたい。
座長	様々な意見をいただいたが、今後この案をもって地域に入って説明会を実施していきたいと考えている。それで問題ないか。
委員	問題ない。
委員	まずはPTAや地域の方々に説明をしてほしい。東別院町では石田梅岩のこともあり試行錯誤しているいろいろ進めている最中である。知名度も挙がってきているので東別院町としては学校を残してほしい。何度も地域の意見を聞いて進めてほしい。
教育長	当時と案は変わらないかもしれないが、社会性のことなどを考えればまずは中学校の問題をどうにかしなければならない。
座長	今後、丁寧にPTAや保護者、地域の声を聞きながら進めていきたいと考えている。他には意見等はないか。
委員	夏休み中に保護者に説明はするのか。
事務局	夏休みが短いことや、皆さんの予定を考慮して大体1ヶ月前には案内しているので早くても9月ごろになるだろう。ただし、協力していただけるのであれば時間的に早く教育委員会としても調整をしていきたいと考えている。可能な限り早く、回数についても相談できると思う。
座長	今回具体的な案で各関係者に説明させていただいた。今後、時期を考えてこの案で地域に説明に入りたいと思う。本日のところは会議を閉じさせていただく。

